# 森の宝石 ブッポウソウの地域保護活動

吉備中央町は岡山県の中心に位置し、昔から「吉備高原」と呼ばれる緑豊かな地域です。平成 2 年頃(旧加茂川町)から、巣箱の設置をはじめとするブッポウソウの保護活動を積極的に行ってきました。平成 9 年には、ブッポウソウの繁殖地として加茂川エリア全域が天然記念物に指定されました。合併後、吉備中央町となってからは、平成 24 年に制定した町内に生息する希少野生生物を保護する条例の対象としてブッポウソウを指定し、令和元年度からはブッポウソウを「町の鳥」として保護活動を行っています。

また、平成 28 年度から町民有志が立ち上げた「ブッポウソウ吉備中央町会」が中心となり、巣箱の維持管理や啓発パンフレットの発行などを行っています。同会では町内数か所に観察小屋を開設し、全国でも有数のブッポウソウ観察地として知られているほか、毎年ブッポウソウに関するコンテストやフォーラムを実施するなど、保護活動を通じて自然の大切さを町内外に広く発信しています。

吉備中央町では、今後も引き続き、積極的にブッポウソウの保護活動への支援を進めていきたいと考えています。

| | |
|---|---|
| 主な活動主体 | ブッポウソウ吉備中央町会、吉備中央町 |
| 保護動植物の位置付け | 岡山県版レッドリスト 2025：絶滅危惧Ⅰ類<br>環境省第 5 次レッドリスト：絶滅危惧ⅠB類 |

活動状況（写真提供：ブッポウソウ吉備中央町会、吉備中央町）





